



学習塾れいめい塾長

二村 豊明さん

|| 東雲 ||

アマチュア劇団「M A 2

(まっつ)を主宰し、舞台俳優・大虎鉄(たいが てつ)として実在の人物から歴史上の人物、ヤンバルクイナから在日コリアンまで演じてきた二村豊明さんを「二村先生・ニムニム先生」と呼ぶ教え子は3千人を超える。公立小中学校で教え、学習塾でも教え、家庭教師の経験もある教育のプロフェッショナルだ。教える子の中から知っているだけで20人が教職に就いた。



科で理科を教えたのは「高校時代に自分が興味を持ってなかった物理・化学の分野についても、小学理科の教員用解説書に面白い説明がされているのを見つけ、それを生徒に伝えたかったから」という。生徒の興味津々な顔を見るのがうれしくて、実験を多く取り入れた楽しい授業を心掛けた。その結果アンケートに95%の教え子が「理科が好き」と答えた。実績を買われて長野県の理科教科書選定について意見を求められたこともあるという。

専門は中学の国語だが、小学校教務主任時代は担任を持たずに高学年のみ教える「理科専科」を長く兼任した。専門の国語では、習字にも力を入れた。授業時間の前半を毛筆に慣れるための自由時間に充てたのは正しかったと思っ

き写せば、文学作品を深く味わえるものと二村さんはいう。演劇で磨いた二村さんの読み聞かせや朗読は、児童生徒を感激させ泣かすほどの力があつた。

教え子の思い出は尽きないが、これまで繰り返し二村さんが書いたり話したりしてきた生徒が2人いる。人懐こく笑いだすと止まらないK子さんが卓球団体戦でチームを優勝に導いた。二か月後に末期がんが見つかり、その更に二か月後のクリスマススイヴに亡くなった。けなげで二村さんを一番泣かせた子だ。T君は歴史教科書の誤りを指摘し、訂正させた。二村さんがいつも言う「疑問に思うことの追究」を実践してくれた。

実は職業選択で、二村さんは少し迷ったという。信大長野キャンパス内で公演した演劇は車を走らせ、火や水を使う大胆な演出が演劇専門誌に載るほど話題になった。その公演を見に来た信越放送のディレクターに誘われて二村

さんは、卒業まで同局でラジオパーソナリティーをしていた。スター歌手を楽屋でインタビューなどしてやりがいがあつた。それでも教育実習で出会った子供たちの可愛らしさが勝って、教育界に身を置くことに決めた。

胸上げされた経験は3回。指導した部活のハンドボール部が県大会で好成績を上げて2回。中学生の細い腕では、あまり高くは上がらなかったが先生は嬉しかった。最後は自身の結婚披露宴で。友人らによる祝福の胸上げで花婿は宙を高く舞った。この結婚は長く続けた後に解消し、年月が流れた。

長野市での学習塾共同経営を経て小諸に来た二村さんは今、塾生を幅広く受け入れ通いやすさも考慮した場所への塾の移転と、劇団「M A 2」の小諸初公演、そして自分の新しい家庭を築くことの3つの準備を同時進行で進めていて忙しい。

(取材・文 佐藤 万千子)

エイジングと薬膳

筋肉減は老化への一歩



今回は体内の水と筋肉の関係についてです。ところで、人からだに含まれる水分はどのくらいだと思いますか？

答えは子供が約70%、成人男性で約60%、成人女性約55%、高齢者になると約50%といわれています。男性が女性よりも水分量が多いのは、男性のほうが筋肉量が多いからなのです。からだは多くの筋肉と脂肪でできていますが、筋肉はなんと、その重量の約75〜80%が水分。一方脂肪はわずか10〜20%にすぎません。結論は、女性のほうが脂肪が多いため、男性よりも水分が少ないというわけです。

抗加齢のためには適度な運動習慣はもちろん、食事にも気をつけることが大切です。薬膳には強筋骨のための食物も。ざつと挙げてみると山芋、カリフラワー、キャベツ、ぶどう、ココナッツ、いわし、ウナギ、タコ、まなごつお、牛肉、鹿肉、うずらの卵など。腎臓を強くするための食物です。筋肉力をアップし、猛暑を乗り切りましょう。(国際中医薬膳師 小清水ゆら)